

第6学年「外国語」学習指導案

授業者 濱 雪乃

2月21日(土) 2階B室 10:00～10:40

1 単元名 My Hero

2 単元について

単元目標	憧れの人について、多様な言語や表現のあり方に気づきながら、自分の思いやことばに立ち止まり、相手を意識してことばを選び伝えようとする。
------	--

本単元では、「憧れの人」を題材とし、最終的に自分の憧れの人物についての紹介や、その人への思いを簡単な英語でスピーチすることを目標とする。卒業を前に、自分の考えや感じ方が次第にはっきりしてくる6年生の子どもたちにとって、憧れの人について表現することは、自分がこれまで大切にしてきた思いや価値観をふり返り、見つめ直す機会となるだろう。また、ことばを選びながら自分の思いを伝える経験を重ねることで、相手を意識し、よりよく関わろうとする姿勢を育てていきたいと考える。その前段階として、本単元では、憧れの気持ちを表す表現について、英語を含む複数の言語や表現のあり方を通してとらえ直すことのできるような活動を行いたい。

日常生活において、子どもたちは多くのことばを無意識のうちに使っている。一方で、ことばがもつ意味や響き、相手への届き方について立ち止まって考える機会は必ずしも多くない。そこで本活動では、同じ思いであっても、言語や文化、話し手の立場によって表し方や焦点が異なることに気づいたり、自分はどのような思いを、どのようなことばで伝えたいのかを考えたりする経験を大切にしたい。

外国語というのは、多くの人にとって、すぐに口から出るものではなく、考え、選びながら使う必要があるものである。だからこそ、外国語を用いた表現活動は、「ことばを選ぶ」という行為そのものを可視化し、意識化するきっかけとなり得る。そこで、本実践では、多言語での表現の違いやニュアンスに触れることで、それぞれの言語がもつ役割や特徴に目を向けさせたいと考えた。その過程で、ことばは単なる伝達の道具ではなく、他者との関係や世界のとらえ方に影響を与えるものであることに子ども自身が気づいていくことを期待している。

(本単元は、啓林館 Blue Sky elementary 6 Unit 5 This is my hero.と合わせて行う。)

3 学習指導計画(5時間目/全9時間)

- 第1次 世界の偉人クイズを通し、様々な人物を紹介する表現を知る。 … 3時間
第2次 あこがれの人について伝える表現について考え発表の準備をする。 … 本時 2/4時間
第3次 あこがれの人について伝える。 … 2時間

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

憧れの気持ちを表すことばの違いに気づき、自分の思いに合ったことばを選ぼうとする。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. 世界の偉人クイズに挑戦する。 2. 教師の憧れの人物についての話を聞く。 3. 話された英語の意味を考えながら、日本語の「すごい」「素晴らしい」などと比較する。 4. 話し合ったことをもとに、自身の憧れの人物への想いに合うことばを選ぶ。	・前時までにつくったクイズを出し合う。 ・great / amazing / wonderful / awesome / cool など、子どもたちにとって、これまでに聞いたり使ったりしたことがあるがあまり意味の使い分けをしてこなかったことばで表現する。 ・I want to be like ... / I respect ... / I admire ... の違いについても気が付くことができるようにする。 ・英語のそれぞれが使われていた場面を想起させたり、他言語におけるニュアンスの異なることばの例を示したりする。 ・自身の思いにも立ち戻ることができるようにする。

□協議会で話題にしたいこと

子どもたちがことばに立ち止まり、自分の想いに合わせて表現を選んでいく姿をどのようにとらえるか。